

令和 6 年度 事業報告書



社会福祉法人 善常会

特別養護老人ホーム オレンジタウン笠寺
ショートステイ オレンジタウン笠寺
オレンジタウン笠寺 デイサービスセンター
特別養護老人ホーム オレンジタウン笠寺Ⅱ

1. 善常会ビジョン（令和 3 年度策定）

私たちは住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりを目指します

2. 理念

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けられる町づくりをめざして

3. 基本方針

(1)地域に根ざし、地域包括ケアシステムの一端を担う

重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後までつづけることができるよう、地域社会と連携して町づくりに参画していく。

(2)ICF モデルの視点に立ったケアの提供

利用者の生活歴や生活機能の把握に努め、「している“活動”」の向上を目指し、結果として「その方らしい生活」を提供していく。

4. 行動指針 ―私たちの行動3か条― （令和1年度策定）

私たちはその人らしい暮らしをサポートします

私たちは常に温かく支えあうチームを目指します

私たちは地域と一緒にこの町をハッピーにします

5. 善常会グループ全体方針

①グループ全体最適の視点

各部門の部分最適を追求することなく、善常会グループ全体として高いパフォーマンスを発揮し、地域で役割を担って貢献していくことを目指します。

②働きがいのある職場づくり

新人事制度の運用、限定正職員制度の導入、ベースアップ等処遇改善、教育ビジョンとそれを実現するための教育体系、研修の実施等により働きがいのある職場を目指します。またガバナンスの強化に取り組み、あらゆるハラスメントを許容しません。

③D X 化の推進

記録の電子化、患者・利用者情報の一元化（医療・介護連携）をはじめ、I C T の利活用を推進します。同時にバックオフィスをD X 化し、生産性向上を目指します。

④人生の最終段階における適切な意思決定支援の推進

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等を踏まえ、患者・利用者本人の意思決定を支援すべくA C P に取り組みます。

⑤虐待・不適切ケアの防止および身体的拘束の適正化

今までも特に介護領域においては、身体的拘束を行わないことを是としてきました。

今後、善常会グループは可能な限り身体的拘束を行わないことを方針とし、虐待や不適切ケアにつながらない取り組みを推進します。

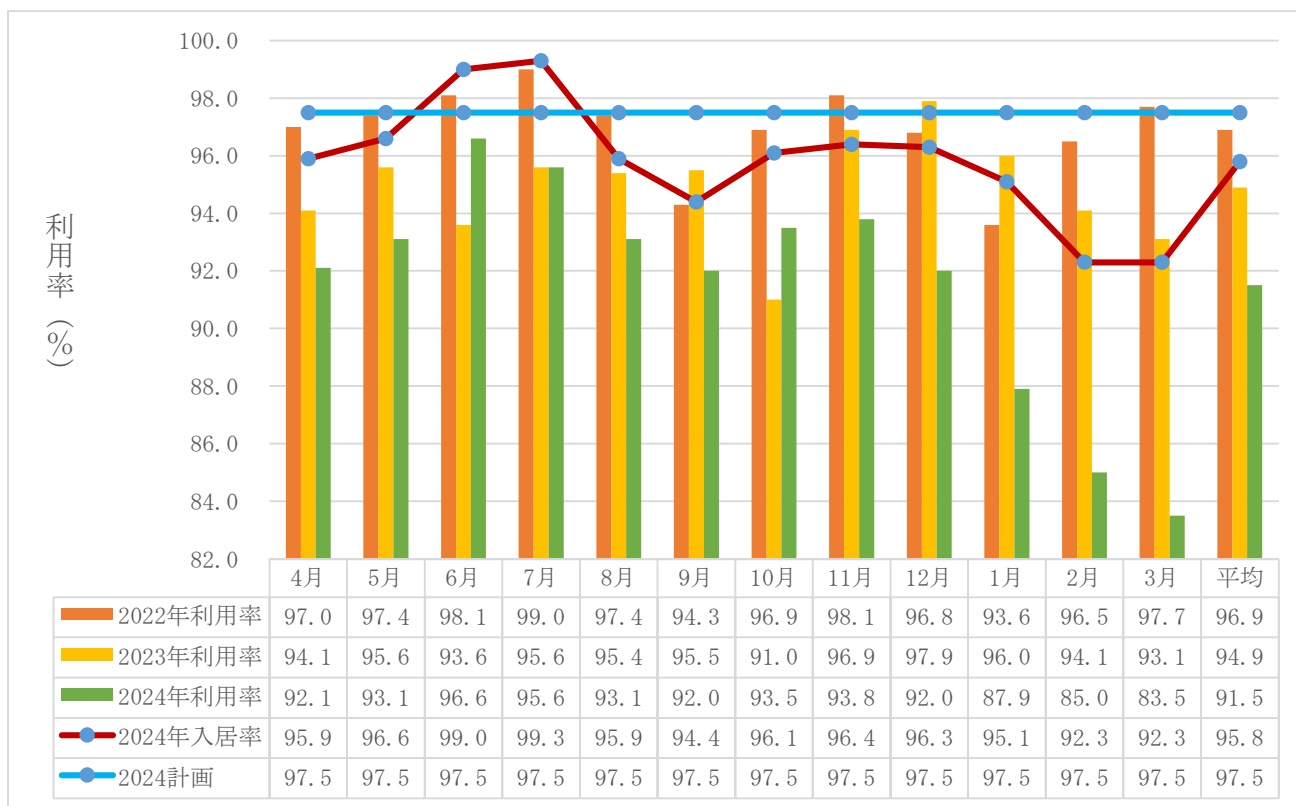
6. 令和 6 年度 事業経過

月	日	オレンジタウン笠寺	オレンジタウン笠寺Ⅱ
4 月	1 日	入職式	
	24 日	評議員選任解任委員会	
5 月	13 日～6 月 7 日	あいち福祉医療専門学校 介護福祉学科実習 2 年 合計 6 名	
	20 日	監事監査	
6 月	5 日	理事会	
	19 日	消防訓練（昼間想定）	
	24 日	評議員会	
7 月	9 日	WelcomeParty2024（善常会グループ）	
	15 日	納涼祭 名古屋港花火大会鑑賞	
9 月	2 日～10 月 11 日	あいち福祉医療専門学校 介護福祉学科実習 2 年 合計 7 名	
	5 日	シェイクアウト訓練	
	16 日	敬老会	
10 月	27 日	善常会健康フェスタ（善常会グループ）	
11 月	3 日	第 5 回 秋まつり	
	10 日	東海慢性期医療協会第 25 回研究会発表	
	11～15 日	みずほフェスタ' 24 作品展	
	27 日	消防訓練（夜間想定）、初期消火訓練	
	11 日～12 月 3 日	あいち福祉医療専門学校 介護福祉学科実習 1 年 合計 6 名	
12 月	1 日	善常会研究会（善常会グループ）	
	3～7 日	地域支援科 紅葉狩り	
	20～23 日	ゆず湯	
	25 日		クリスマス会
1 月	8 日		餅つき
	27 日～2 月 18 日	あいち福祉医療専門学校 介護福祉学科実習 1 年 合計 6 名	
	27 日	理事会	
2 月	3 日	節分 豆まき	
3 月	11 日	シェイクアウト訓練	
	27 日	理事会	
	27 日～	お花見（丹八山公園）	

7. 運営状況

①特別養護老人ホームオレンジタウン笠寺

介護老人福祉施設(ユニット型 定員 80 名)



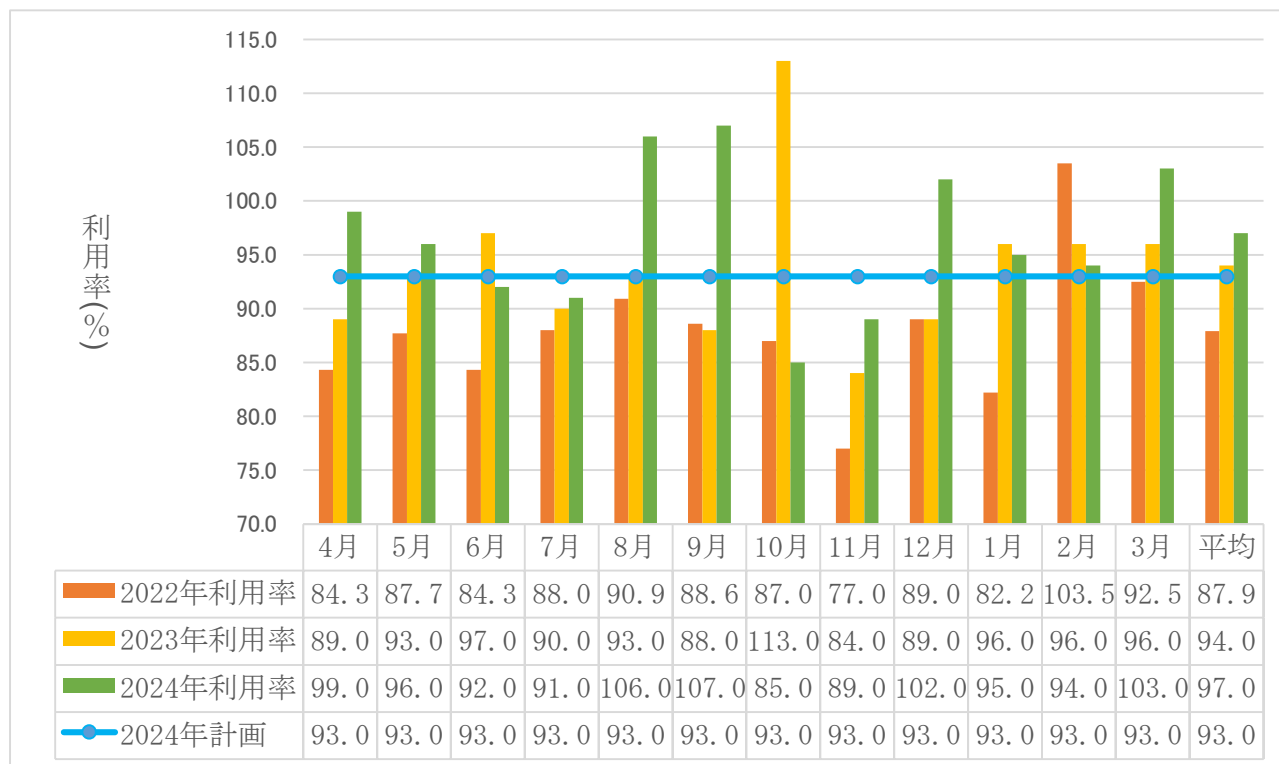
- ・当年度の利用率は計画値 97.5%に対し、91.5%と大きく未達であった。
- ・当年度末現在、入居者の平均年齢は 86.6 歳、平均入居期間は 1,076 日、平均介護度は 4.0。
- ・年間入居者数 32 名、退居者数 40 名。
新規入居者のうち病院からの入居が 43.8%、老健からは 40.6%を占めている。
退居者のうち入院が 55%、施設での逝去が 43%となっている。
- ・3 月末の待機者数は 40 名。(うち、法人内併願が 38 名、単願が 2 名)
- ・入院者数は 1 日当たり平均 3.4 名。前年度 2.7 名であり増加している。
肺炎を含む呼吸器系疾患が 38%、次いで食欲不振が 16%である。
特に 2・3 月は Covid19 のクラスターにより、肺炎などで計 17 名の入院があった。

・資金収支実績 (単位：千円)

事業活動収入計	427,574	事業活動外収入	1,365
事業活動支出計	392,177	事業活動外支出	35,281
事業活動資金収支差額	35,397	事業活動外資金収支差額	△33,916
(対収入比)	8.3%	当期資金収支差額合計	1,482

②ショートステイオレンジタウン笠寺

短期入所生活介護(ユニット型 定員 10 名 介護予防短期入所生活介護含む)

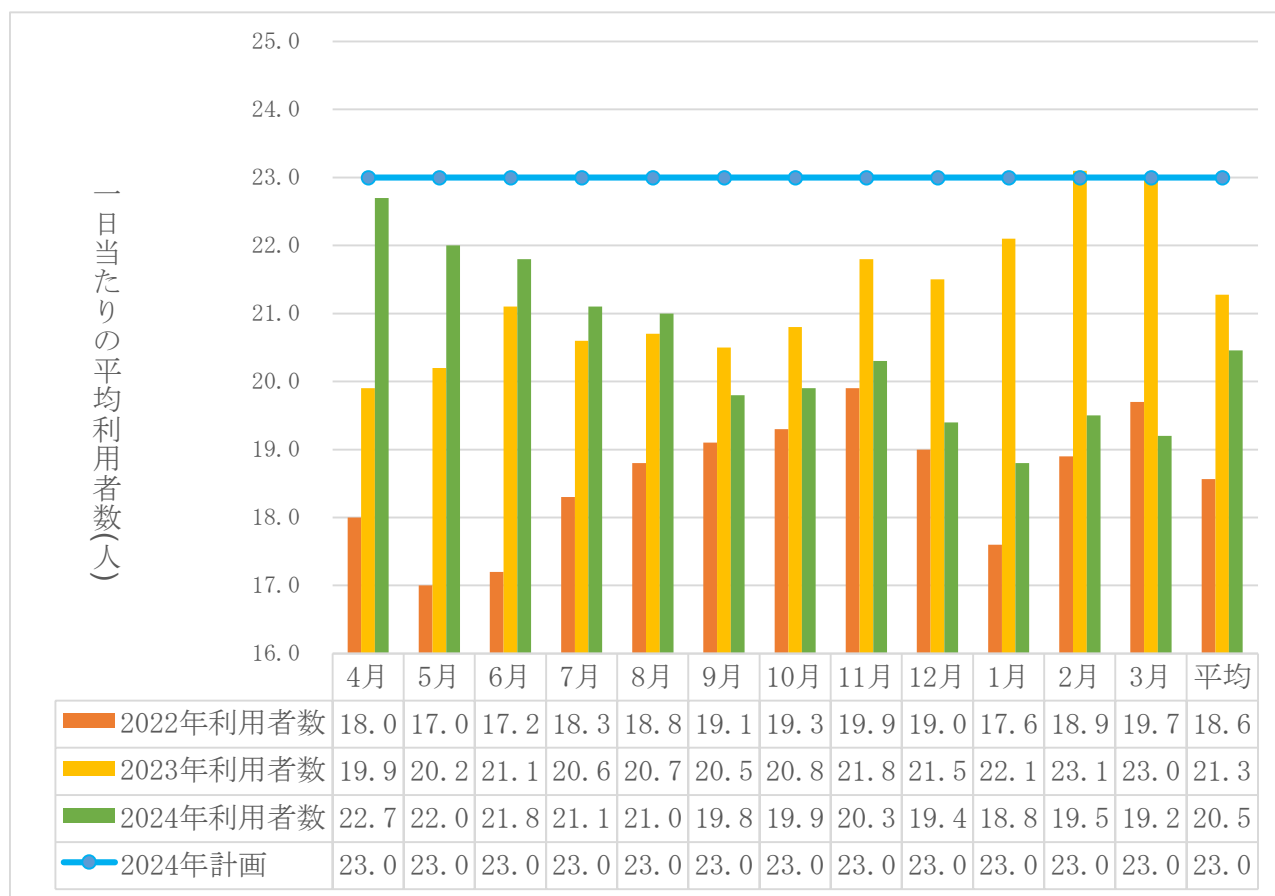


- ・当年度は年間平均利用率 97.0%で計画達成している。
- ・そのうち特養の空床利用は延べ 241 人 (0.66 人/日) であり、それを差引くと、ショートステイフロアだけの利用率は 96.34%となる。
- ・当年度の実利用者数は 105 名。うち、新規利用者数は 42 名、利用中止は 34 名であった。
- ・平均介護度は 2.9。
- ・資金収支実績 (単位：千円)

事業活動収入計	54,749	事業活動外収入	0
事業活動支出計	46,489	事業活動外支出	5,542
事業活動資金収支差額	8,261	事業活動外資金収支差額	△5,542
(対収入比)	15.1%	当期資金収支差額合計	2,718

③オレンジタウン笠寺デイサービスセンター

通所介護(定員 30 名 予防専門型通所サービスを含む)



- ・1日あたりの平均利用者数は年間平均で20.5人であった。

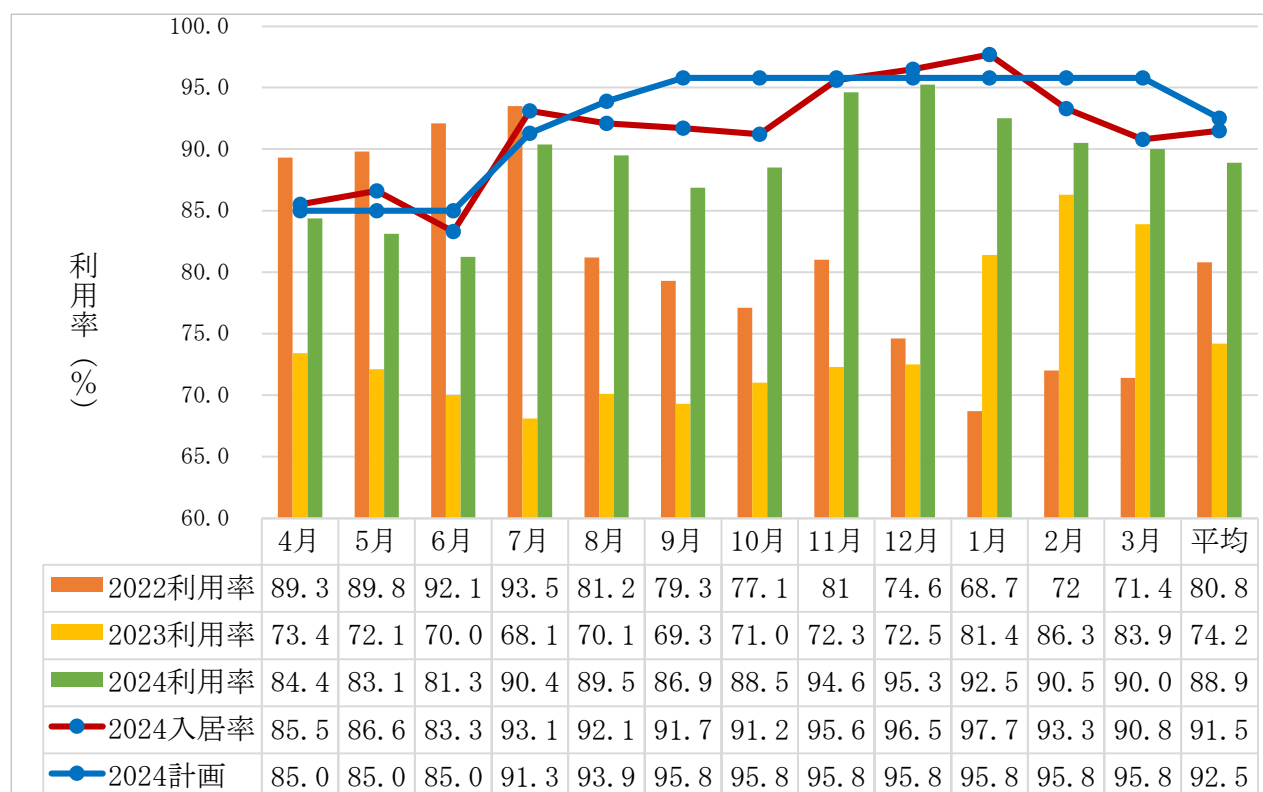
登録者数は年間平均で通所介護49.5人、予防専門型14.8人。

新規開始は29人で前年度と変わらず、利用中止は38人。前年度は利用中止26人だったので、中止者が増加した。施設入所、在宅復帰困難、死亡を理由に中止となるケースが多い。

- ・資金収支実績(単位：千円)

事業活動収入計	67,608	事業活動外収入	0
事業活動支出計	54,722	事業活動外支出	5,756
事業活動資金収支差額	12,885	事業活動外資金収支差額	△5,756
(対収入比)	19.1%	当期資金収支差額合計	7,129

④特別養護老人ホームオレンジタウン笠寺Ⅱ
介護老人福祉施設(ユニット型 定員 80 名)



- ・当年度の年間延べ利用数は計画値 27,018 名に対し、25,970 名（内、空床利用 221 名）と、計画値に対して未達であった。
- ・令和 4 年 12 月より入居者定員を 80 名から 60 名に低減し運営していたが、令和 6 年 7 月より 80 名での運営を再開した。12 月時点で稼働率は 95.3%となったが、その後 1 月より相次ぐ入院者数の増加により 90%台にまで稼働率が低下した。
- ・当年度末現在、入居者の平均年齢は 86.9 歳、平均入居期間は 810.3 日、平均介護度は 3.77。
- ・新規入居者数 42 名、退居者数 36 名。
新規入居者のうち病院からの入居が 45%、老健からは 27.5%を占めている。
退居者のうち入院が 50%、施設での逝去が 50%となっている。
- ・3 月末の待機者数は 40 名。（うち、法人内併願が 38 名、単願が 2 名）
- ・入院者数は 1 日平均 2.0 名。前年度は 1.7 名であった。
消化器・内科系疾患 25.7%、次いで肺炎含む呼吸器疾患が 22.9%であった。
- ・資金収支実績（単位：千円）

事業活動収入計	407,367	事業活動外収入	710
事業活動支出計	376,519	事業活動外支出	29,297
事業活動資金収支差額	30,847	事業活動外資金収支差額	△28,588
(対収入比)	7.6%	当期資金収支差額合計	2,260

8. 人材の確保ならびに定着にかかる研修等の状況

① 令和6年度職員の状況

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	入職	退職	入職	退職	入職	退職	入職	退職	入職	退職	入職	退職
介護職員	5						4	1	1		2	2
看護職員								1				
その他												
計	5	0	0	0	0	0	4	2	1	0	2	2
	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	入職	退職	入職	退職	入職	退職	入職	退職	入職	退職	入職	退職
介護職員	4	2	2	3	1	1	1	2			2	3
看護職員	1				1					1		
その他				1								
計	5	2	2	4	2	1	1	2	0	1	2	3

- ・入退職および産休育休、介護休業の状況

令和6年度の新規入職者数は22名、退職者数は17名であった。

令和7年3月末在籍者数における離職率は12.4%（前年度15.8%）、介護職員離職率は15.7%（前年度20.7%）であり低減した。

現在医療法人より在籍出向者が7名、医療法人への在籍出向者が2名。

産休育休中の職員が1名、復帰職員は2名。

- ・資格取得状況

介護福祉士国家試験に介護職員5名、EPA介護福祉士候補者2名の職員が合格した。

介護職員のうち81.6%が介護福祉士となった。

また介護支援専門員実務研修受講試験に3名が合格した。

- ・ユニットリーダー研修（一般社団法人ユニットケア推進センター）

ユニットリーダー研修修了者13名。うち当年度3名が実地研修修了した。

なお施設基準ではユニットリーダー研修修了者は1施設につき2名必要。

- ・介護福祉士実習指導者研修修了者13名。うち当年度1名が新規修了（Ⅱは受講者0名）

- ・介護プロフェッショナルキャリア段位制度アセッサー、アセッサー保有者3名。

② 人事政策の状況

- ・採用力の強化

連携する養成校から新卒者1名採用。また令和8年4月採用予定の留学生4名を愛知県介護福祉士等修学資金貸付制度を利用し採用した。

- ・人事マネジメントシステムの活用

7月より人事マネジメントシステム「SmartHR」の本運用を開始した。これにより入職手続き、雇用契約はじめ種々の手続きがシステム上で行えるようになった。

- ・教育体系の構築と階層別研修

グループの教育ビジョンに基づき、e-ラーニング研修「Waculba」を活用し、マネジメント研修を通年で実施。対面での階層別研修では管理職研修に加え、3・4 等級を対象に次世代リーダー養成研修を実施した。さらに半年をかけてリーダー開発研修を実施し、その取り組みを善常会研究会(163 名参加)で共有した。研修記録は別紙 1 参照

- ・ビジョンの浸透、事業計画の共有

7 月 9 日にサイプレスガーデンホテルにおいて善常会グループ WelcomeParty2024 (225 名参加)を開催。事業計画および決算概要の共有を行い、その後、グループ一体経営に資する懇親会を開催した。

- ・ハウスルールの展開

職員手帳(ハウスルール)を展開し、理念教育に取り組んだ。ハウスルールの見直しを行い、フロア会議などを通して浸透を図っている。また新入職時は 3 か月以内に伝達している。

9. 地域社会との連携、共生に向けた取り組み

- ・町内会の廃品回収に毎月参加
- ・広報誌を年 2 回発行
- ・グループホームページをリニューアル
- ・10 月 27 日善常会グループ健康フェスタをイオンモール新瑞橋にて開催(613 名来場)
- ・11 月 11～15 日みずほフェスタ' 24 作品展(瑞穂区役所)に出展
同フェスタ、スタッフ 1 名を派遣
- ・南区地域包括ケア推進会議認知症専門部会に委員 1 名を派遣
- ・みなみシニアクイズラリーワーキング 2024 に委員 1 名を派遣
- ・名古屋養育院への雑巾等の寄付

10. 相談・苦情の受付状況

- ・苦情受付担当者への申立状況(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

オレンジタウン笠寺	特別養護老人ホーム	2 件
	ショートステイ	2 件
	デイサービス	0 件
オレンジタウン笠寺Ⅱ	特別養護老人ホーム	2 件

- ・第三者委員：福祉サービス苦情相談センター

なお、第三者委員への報告・助言などに至ったケースはなかった。

11. まとめ

オレンジタウン笠寺Ⅱが令和4年12月より入居者定員を低減して運営してきたが、令和6年7月より80名での運営を再開した。

しかし、待機者数の減少、入院者数、退居者数の増加により稼働率が低下し、計画は未達となった。一方、職員数の回復および介護報酬改定に伴うベースアップ等加算の追加による介護職員等処遇改善加算により人件費は前年度比36,106千円(6.0%)増加、事業費は利用者増および物価高騰により前年度比13,323千円(8.3%)増加と、事業活動支出計は52,057千円(6.0%)増加した。

結果として、当法人の事業活動資金収支差額は84,040千円、当期資金収支差額合計は10,238千円での決算となった。

令和 6 年度内部研修

【別紙】

研修日	分類	対象	研修内容
4 月 1 日～ 21 日	その他	入職者	新卒採用 グループ内研修
		入職者	新卒、中途採用者社会福祉法人内研修
6 月	その他	5 等級	Waculba（オンデマンド） ・ 監督職からはじめる部下育成 ・ 部下の成長を後押しするフィードバック面談
6 月	その他	6 等級	Waculba（オンデマンド） ・ 組織が管理職に求める役割 ・ 部下の成長を後押しするフィードバック面談
6 月	その他	7 等級	Waculba（オンデマンド） ・ 病院管理職のパフォーマンスを妨げる要因と対策 ・ 部下の成長を後押しするフィードバック面談
6 月 7 日～ 11 月 6 日	その他	管理職	善常会グループ NK リーン現場リーダー開発プログラム：日本経営
6 月 19 日～ 7 月 11 日	口腔	全職員	肺炎予防委員会（オンデマンド） ・ 施設で行う口腔ケア
6 月 28 日～ 7 月 12 日	事故	全職員	事故防止検討委員会（オンデマンド） ・ 2023 年度の活動報告と 2024 年度委員会活動内容
8 月	その他	5 等級	Waculba（オンデマンド） ・ リーダーシップ ・ 基礎からわかる人事評価
8 月	その他	6 等級	Waculba（オンデマンド） ・ 基礎からわかる人事評価
8 月	その他	7 等級	Waculba（オンデマンド） ・ 成果を作り出すチーム作り ・ 基礎からわかる人事評価
8 月 8 日～ 31 日	虐待 拘束	全職員	虐待・身体拘束防止委員会（オンデマンド） ・ 権利擁護と法令遵守～介護事業者を中心に～
8 月 21 日	その他	入職者	中途採用者社会福祉法人内研修
8 月 29 日～ 9 月 5 日	褥瘡	全職員	褥瘡対策委員会 ・ 褥瘡予防のための理解を深める
10 月	その他	5 等級	Waculba（オンデマンド） ・ 部下の成長を後押しする
10 月	その他	6 等級	Waculba（オンデマンド） ・ コーチング ・ 部下の成長を後押しする
10 月	その他	7 等級	Waculba（オンデマンド） ・ コーチング ・ 部下の成長を後押しする
10 月 1 日	災害 BCP	全職員	安否確認訓練 ・ トヨクモ安否確認サービス 2

研修日	分類	対象	研修内容
10月1日～2日	その他	入職者	中途採用者内研修
10月7日～ 13日	感染	全職員	感染対策委員会（オンデマンド） 「食中毒の基礎知識を学び、予防方法を知ろう」
10月30日～ 11月13日	看取り	笠寺Ⅱ 職員	看取りケア委員会 「看取り介護について～事例を通して～」
11月	その他	5等級	Waculba（オンデマンド） ・問題解決
11月15日～ 11月20日	口腔	全職員	肺炎予防委員会（オンデマンド） 「義歯について学ぼう」
11月22日～ 12月5日	事故	全職員	事故防止検討委員会 「KYT（危険予知トレーニング）研修」
1月	その他	6・7 等級	Waculba（オンデマンド） ・経営理念に基づいた目標の設定
1月13日～ 1月19日	感染	全職員	感染対策委員会 「感染症の基礎知識を学ぶ」
2月	その他	5等級	Waculba（オンデマンド） ・職場のコミュニケーション（上司偏）
2月	その他	7等級	Waculba（オンデマンド） ・人材育成の極意
2月1日～ 2月10日	その他	全職員	ノーリフティングチーム 「ノーリフティングケア研修～腰痛について～」
2月5日	その他	入職者	中途採用者研修
2月27日～ 3月13日	虐待・ 拘束	全職員	虐待・身体拘束防止委員会（オンデマンド） 「高齢者虐待防止に関する研修 ～アンガーマネジメントと虐待防止～」
3月4日	その他	3・4 等級	善常会グループ研修 次世代リーダー養成研修：日本経営
3月5日	その他	5等級 以上	人事評価制度の適切な運用：日本経営
3月5日～ 3月23日	褥瘡	全職員	褥瘡対策委員会（オンデマンド） 「座位での褥瘡予防～車いす、クッションの特徴から～」
3月7日～31日	災害 BCP	全職員	災害 BCP 「BCP とは何か～初動対応まで～」
3月13日	排泄	笠寺Ⅱ 委員	排泄ケアチーム 「おむつ勉強会」
3月26日	生産性 向上	全職員	生産性向上委員会 「眠り S C A N の基本的な使用方法を知る」

令和 6 年度外部研修

研修日	研修名・主催	人数
5月1日～ 6月30日	ノーリフティング推進協会基礎研修（オンライン） ：全国ノーリフティング推進協会	2名
5月19日	第32回愛知県作業療法学会発表：愛知県作業療法士会	1名
5月24日	第1回介護保険施設・福祉施設栄養士研修：日本栄養士会	3名
5月28, 29, 31日	給食施設講習会：名古屋市南保健センター	4名
6月1日～ 11月30日	安全介護実践講座研修：全国老人福祉施設協議会	32名
6月14日～ 7月5日	令和6年度あいち福祉医療専門学校介護福祉士実習指導者講習会 介護の基本、実習指導の理論と実際	1名
6月19日	認知症のキホン～頼り、頼られ、自分らしく～：南区介護事業所連絡会	1名
6月22日	やさしいメニュー提案会：尾家産業株式会社	3名
6月25日	介護保険制度研修（オンライン）：名古屋市社協	1名
6月27日	権利擁護と法令順守～介護事業者を中心に～：名介研	1名
7月1日	給食施設指導講習会：名古屋市南保健センター	2名
7月9日	中堅職員向けサロン：名古屋市社協	1名
7月12日	モチベーション向上研修：名古屋市社協	1名
7月17日	高次脳機能障害基礎知識研修（オンライン）：名古屋市社協	1名
7月17日～18日	ノーリフティング一般研修：全国ノーリフティング推進協会	2名
7月19日	権利擁護研修：名古屋市社協	1名
7月23日	感染症対策研修：名古屋市社協	1名
8月1日～ 9月30日	ノーリフティング推進協会基礎研修（オンライン） ：一般社団法人全国ノーリフティング推進協会	2名
8月6日	介護職員が知っておくべき薬学基礎知識研修（オンライン） ：名古屋市社協	1名
8月21日	苦情・クレーム研修(オンライン)：名古屋市社協	3名
8月22日	対人援助技術研修：名古屋市社協	1名
8月26日	医療基礎知識研修：名古屋市社協	1名
8月27日	普通救命研修：名古屋市社協	1名
9月13日	スーパービジョン研修：名古屋市社協	1名
9月13日	何から始める！？短いリードタイムで最大の効果をあげる生産性向上の 取組について:名介研	2名
9月17日	ファシリテーション研修：名古屋市社協	1名
9月17日	令和6年度介護報酬改定についての意見交換会 名古屋市介護サービス事業所連絡研究会	2名
9月17日～20日	ユニットリーダー研修実地研修：日本ユニットケア推進センター	1名

研修日	研修名・主催	人数
9月27日	令和6年度介護報酬改定についての意見交換会：名介研	1名
10月8日	メンタルヘルスケア研修：名古屋市社協	1名
10月8日～11日	ユニットリーダー研修実地研修：日本ユニットケア推進センター	1名
10月16日	潰れないリーダーになるために～リーダーを続けるコツ～（オンライン） ：（株）日本ケアコミュニケーションズ	1名
10月18日	介護人材定着研修 組織人基本行動編：全国老人福祉施設協議会	2名
10月22日	普通救命研修（オンライン）：名古屋市社協	2名
10月22日～25日	ユニットリーダー研修実地研修：日本ユニットケア推進センター	1名
10月23日	管理栄養士による居宅療養管理指導について：南区介護事業所連絡会	2名
10月28日	タイムマネジメント：名古屋市社協	1名
10月30日	中堅職員向けサロン：名古屋市社協	1名
11月6日	介護技術向上研修（高齢事業所向け）：名古屋市社協	1名
11月6日	第2回介護保険施設・福祉施設栄養士研修（オンライン）：名古屋市	2名
11月10日	東海慢性期医療協会 第25回研修会：東海慢性期医療協会	9名
11月12日	Word, Excel, Outlook の基礎知識（オンライン）：全国老人福祉施設協議会	1名
11月26日	看取りケア研修：名古屋市社協	1名
12月9日	ユニットケアセミナー：日本ユニットケア推進センター	14名
1月10日	あれから1年能登半島地震における被災施設、福祉避難所の実情と そこから学ぶBCPについて：北保健センター	3名
1月17日	名古屋市高齢者虐待防止講演会（オンライン）：名古屋市社協	3名
1月29日	2024年度第2回看護職のためのユニットケア研修（オンライン） ：日本ユニットケア推進センター	2名
2月12日	介護事業所におけるカスタマーハラスメント対応の具体策：名介研	2名
2月13日	ICT活用研修[LIFE]：名古屋市社協	1名
2月20日	ICT活用研修[介護ロボット体験]：名古屋市社協	1名
2月2日	身体拘束に繋がらない支援を学ぶ：名古屋市社協	2名
2月27日	巨大地震・防災対策：南区介護事業所連絡会	1名
3月	オンデマンド研修：認知症基礎研修	3名
3月4日	被災地支援経験者が伝える「大災害 その時どうする」 —給食提供施設のため災害時の対応と備え—：名古屋市	1名
3月7日	職員をやめさせないマネジメント 令和時代の介護職員の育て方 ：積水ホームテクノ株式会社	1名
3月23日	効果的な実習指導に向けた研修会 ：学校法人電波学園 あいち福祉医療専門学校	1名